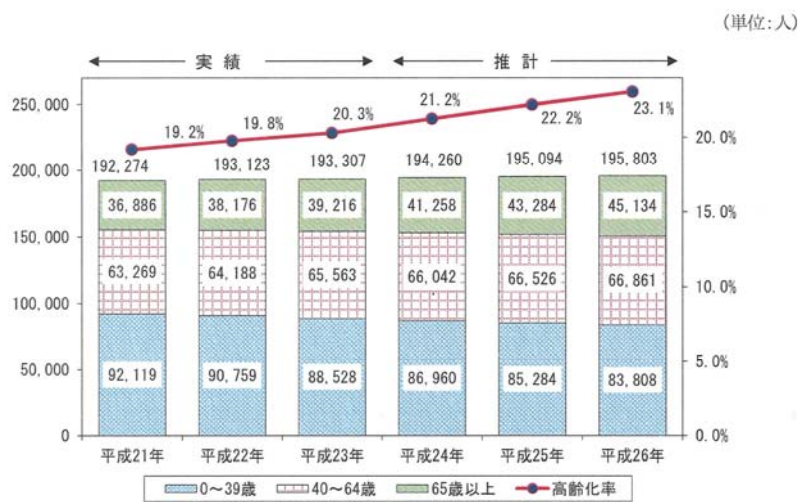


(高齢社会を迎えて)

平成25年度における全国の高齢化率は24.1%です。4人に1人が高齢者となります。下記表は八千代市の人口推計と高齢化率を表したものになりますが、平成25年度においては22.2%と全国平均よりは、やや低くなっており、八千代市の人口が少しずつではありますが、増加しているのが要因だと思います。しかしながら、高齢化率を示す折れ線グラフが、今後も右肩上がりになっていくことは必然であります。

【計画期間の人口推計】



(住民基本台帳と外国人登録者数の計)

ちなみに弊社が店舗をかまえる勝田台はもっと高く、30%を超えております。実際、自宅を処分して駅近のマンションを検討するお客様が増えてきているのを肌で感じております。マンションは、管理費や修繕積立金等の負担はありますが、物件の維持、管理は管理会社が行ってくれるので、戸建てよりは手間がかかりません。そして配偶者のどちらかに介護が必要になった時には、尚更、戸建て住宅の維持管理は難しいものとなります。

誰しも慣れ親しんだ家は出たくないものです。介護が必要になってしまった場合にも、なるべく自宅で介護をしたいというのが家族の気持ちだと思いますが、その気持ちがかえって自分や他の家族を苦しめてしまう場合もあります。お金がたくさんあれば、どのような状況にも対応できるでしょうが、大半の人達はそうではありません。その家族の状況にあったプランをいかに提案できるかが今後、住まいという側面においても重要になってくると思います。

自宅で介護する場合には、ヘルパーさんを頼むにしろ、それなりの改造も必要になってきます。そうでないならば、施設への入所という選択肢もあります。人の人生観は様々ですが、中には子供に世話をしてもらいたい人もいれば、迷惑を掛けたくないから自分から施設に入所しようとする人もいます。施設というイメージを持っている人もいるかもしれませんが、現在は全くイメージの違う様々な高齢者向け施設が出来ております。不動産業者は住まいを扱いますので、終の住まいとしての施設にもアンテナをはらなければいけないと思っております。

勝田台周辺におきましても高齢者向け施設が増えてきました。高齢化率が30%以上ですから当然といえば当然かもしれません。デイサービス、ショートステイ、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅、介護付き有料老人ホーム等様々な種類があります。また、それらの混合型施設も出来てきております。弊社におきましては今後の高齢化率の上昇を踏まえて、地域及び住まいという観点から何らかの貢献ができるよう考えて参りたいと思っております。

塩田 了丈